

本時のねらい

支援学級での1学期の学習や活動を振り返ることができる。
文章作成アプリケーションを使って支援学級通信「カラフル」を、「伝える相手」のことを考えながら作成することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

iPadにインストールされているAppleのネイティブアプリケーションである文章作成ソフト(Pages)を活用することで、文章だけでなく画像を挿入した支援学級通信を作成できることをねらった。

デジタルコンテンツを使用して支援学級通信を作成することで、文字を書くことが苦手な児童やレイアウトが苦手な児童や発表が苦手な児童が、苦手意識を減らして積極的に活動に参加できることをねらった。

支援学級の保護者に情報発信する過程で、自分たちの経験を言語化し、感じたことや楽しかったことなどを全員で交流し共有する。交流を通して「どうしたら相手に分かりやすく伝えられるか」を考えることをねらった。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・文章作成ソフト(Pages) ・プレゼンテーションソフト(Keynote) ・学習支援ソフト(ロイロノート)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認し、学習の見通しを持つ。 「文章作成アプリケーションを使って支援学級通信「カラフル」を、「伝える相手」のことを考えながら作成することができる。」 ○支援学級通信を作成するための手順を確認する。 ・学習支援ソフト(ロイロノート)から写真を挿入する。 ・プレゼンテーションソフト(Keynote)を参照する。 ・文章作成ソフト(Pages)の編集の仕方を確認する。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に写真と感想をまとめたプレゼンテーションソフト(Keynote)学習支援ソフト(ロイロノート)を開いて確認する。 ・文章作成ソフト(Pages)にデータを挿入するための手順を確認する。 ・大型テレビに映しながら説明を行う。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○編集作業を行う。 ・文章作成ソフト(Pages)を使って、1年生～5年生は、自分が担当する記事を作成し、6年生は、1年生～5年生が作成した記事を編集し完成させる。 ○支援学級通信の記事を作成して感じた感想や、工夫した点などを入力する。 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章作成ソフト(Pages)で編集する方法を伝える。 ・読む人考えた「相手意識」を大切に「見やすい」、「分かりやすい」、「楽しい」記事になるように伝える。 ・分からないことは、友だちや先生に聞くように伝える。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動をふり返る。 ・自分の活動を発表する。 ・友だちの発表を聞く。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した記事をスクリーンショットして、学習支援ソフト(ロイロノート)の提出箱に提出する。 ・全員の記事を共有しながら発表しあう。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1: 本時のめあてを確認し、学習の見通しを持っている場面。



写真2: 文章作成ソフト(Pages)を使って、記事を編集し、感想や工夫した点を記入している場面。



写真3: 6年生が編集作業を行い、完成した支援学級通信

児童生徒の反応や変容

- ・プレゼンテーションソフト(Keynote)を使い、写真と文章をまとめたものを文章作成ソフト(Pages)で支援学級通信として完成させる活動を通して、支援学級の子どもたちは創造力と表現力を育むことができた。
- ・自分で作成した支援学級通信をおうちのひとに読んでもらうことを目的に記事を作成することで、文章の表現や言葉などをより定義して活動に取り組むことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・プレゼンテーションソフト(Keynote)で写真と文章をまとめることで、文章作成ソフト(Pages)での編集が容易にできた。
- ・「相手意識」を大切にすることで、記事の内容や表現の仕方・レイアウトなどを子どもたち自身が工夫しながら作成させる姿が見られた。
- ・6年生にとっては、1年生～5年生が作成した記事を、「最終的に自分たちが責任を持って仕上げる」というモチベーションの向上につながった。